

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 旬感！のぼりべつかわらばん
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称						
章	6	担いあうまちづくり						
節	1	協働のまちづくりの推進						
施策	3	協働のまちづくりを支える情報の公開と共有						
小分類	1	情報提供と広報広聴活動の充実						
主要な施策	2	広報広聴活動の推進						
事務事業番号	017	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4cccc;">事務事業コード</td> <td>61312017</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業開始年度</td> <td>平成 2 1 年度</td> <td style="background-color: #f4cccc;">事業終了年度</td> <td>平成 2 3 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	61312017	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 2 3 年度
事務事業コード	61312017	事業開始年度	平成 2 1 年度	事業終了年度	平成 2 3 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	旬感！のぼりべつかわらばん
------	------	------------	---------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室情報推進 G
-----	-----	-------	-------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>市の情報発信の拡充を図るため、コミュニティFM放送番組の購入を行い、行政情報や暮らしに役立つ情報、イベント情報、防災情報などを提供する。 また、転入世帯の方々に快適な生活環境を営んでもらうため、市が実施しているサービスや各種手続き、相談窓口、イベント、施設の案内などを掲載した市民便利帳の更新を行う。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>室蘭まちづくり放送株式会社（愛称：FMびゅ～）の放送枠を購入し、行政情報や暮らしに役立つ情報、イベント情報、防災情報などを放送する。 放送時間 毎週月曜日 7時57分と17時29分の2回（1回 1分30秒） スポットCM 20回（1回 20秒）</p> <p>市が実施しているサービスや各種手続き、相談窓口、イベント、施設の案内などを掲載した市民便利帳の更新を行い、転入世帯に配布する。 印刷冊数 3,000冊</p>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>FMびゅ～関係 行政情報や暮らしに役立つ情報、イベント、防災情報などをタイムリーに発信することで、広報のぼりべつを補完する情報伝達手段としたい。</p> <p>市民便利帳関係 市政情報やまちの様子、イベントなどの情報を市民便利帳に掲載し、転入世帯に市内で快適な生活を</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>なし</p>

指標の推移

成果指標	区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
			目標値	実績値	実績値	実績値	実績値	
	FMびゅ～ 情報放送件数	件	目標値	104	104	104	104	104
			実績値	160				
				目標値				
				実績値				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	1,538	2,249				0
合 計			1,538	2,249	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,646	1,638			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,646	1,638			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民生活に身近な情報媒体であるコミュニティFMや市民便利帳を活用した市政情報の提供は、広報紙の発行と並び重要な業務であることから、市で行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ コミュニティFMを聴いた市民からの問い合わせがあるほか、市民便利帳は転入間もない世帯にとって登別を知る情報紙として好評である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 広報紙を通じ、コミュニティFMでの情報提供をPRするなど、市民の関心を高める方策を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ コミュニティFMでの情報提供は、最小限の内容で行っており、削減は難しい。 市民便利帳については、平成24年度から電話帳との合冊発行を行い、冊子を市内全戸・全事業所に配布する予定である。合冊発行に伴う市の経費負担は無い。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	広報紙やホームページ、報道機関だけではなく、コミュニティFMという情報媒体も活用すること情報伝達手段が増え、市民に情報がより伝わりやすい環境を整えることができた。 なお、平成23年度実施をもって明日のまちづくり特別枠事業としての実施は終了し、平成24年度以降は定期的に実施していくため、予算規模を縮小するなど、内容精査のうえ、事業を展開していく。
-----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）